

四電行動 選挙で廃炉

四国電力前での四電行動は17日、石田まゆ参院選挙区候補（原発をなくすかがわの会事務局長）が参加していつも通り取り組まれました。参加者は、伊方廃炉をコールして原発の即時廃炉を求めるとともにリレートーク。石田氏は「原発をなくす

為にも今の政治を変えることが大事です。選挙で政治を変えましょう」と力を込めました。

参加者は「国民民主党も再稼働を公約にし、維新の会は推進の立場を明確にした。共産党は福島事故が起こる前から、ずっと一貫して廃炉を言い続けている」「福島の故郷に戻れない人がたくさんいる中で、生業補償の訴えは当たり前だ。放射能の問題は一生ついていく」「今度の選挙は、原発再稼働を許すのかどうかの行方もかかった選挙だ」と訴えました。

ふるさとを原発を許さないなどを唱和して、廃炉を求めました。



屋島の南約三きびにある久米池南遺跡は、女木島沖あたりからみると、高松平野の東では弥生時代でもよく目立つ場所だったに違いありません。

大昔、諏訪神社の下までは海が入り込んで舟が着いた、という話も聞きますが、新川の改修工事の様子や川添浄水場の工事とき、地下数分で、久米池南遺跡の時代から約百年過ぎたころの土器が発見されたこと等から見て、ヨシやアシが生えるような湿地帯で丸木舟が入る程度の幾筋かの川があり、所によっては稲も育つ環境だったのでは、という気がします。

弥生時代は九州北部と近畿、特に大和地方を中心に栄え、いわゆる邪馬台（やまたい）国がどちらだったにせよ、朝鮮半島を経てそれぞれ大陸と往来していた。大和地方へ伝わる大陸文化は、近畿に入る前に、

高松市で、性暴力の根絶を目指す、フラワーデモ@香川がスタンディンググ宣伝しました。

「性暴力を許さない」のプラカードや花束を手に、性被害や暴力根絶をアピールしました。

参加した元保育士の女性

性は「性被害をなくすために自分が出ることは必ずどこかにある。無力な人はいない。あきらめず続けたい」と話しました。



フラワーデモ スタンディング

高松東バイパス沿いの遺跡 57

川添地区Ⅵ 弥生時代の『鉄』

末光 甲正

まずこの久米池南の地が臨む瀬戸内海を通ります。瀬戸内では村上上海賊や藤原純友が有名ですが、久米池南の弥生ムラは大和地方よりも早く大陸文化に接する場所に位置しています。

久米池南遺跡では、西暦紀元前後、当時の日本列島では一番初めに大陸・朝鮮半島の進んだ文化に接触し、それを取入れていました。証拠の遺物が幾つもあり、その象徴が当時一番のハイテク製品であった鉄でした。

日本では、弥生時代前期の金属は武器の形をした銅の剣・鏃等で、鉄製品はまだ伝わらず、より大陸に近い久米池南遺跡に、より早く鉄が伝わり（と言うより、進んで手に入れたのかも）ました。

その一つが鉄剣で、長さ三四センチ。ムラを取り巻く柵列のすぐ外側に、一人一人だけ入れる大きさを素堀

りにした土壙墓（どこうぼ）墓があり、そこに葬られた人に添えた副葬品（ふくそうひん）でした。

当時、武器とは名ばかりで祀りの道具に変わっていた銅剣に比べ、鉄剣は葬られた人物が、生前ムラ人の先頭に立って戦った時に使ったもの。死んでもムラを守って欲しい、と一緒に埋めたのでしょう。

西暦紀元頃、鉄剣は、当時先進地であったはずの和地方でも未発見。

ほかには、讃岐広島（丸亀市）にある心経山遺跡の例だけ。弥生時代、九州以外の日本で初めて鉄剣を使ったのは久米池南ムラの指導者だった。

他にも発見例。長さ一〇センチ、幅二・三センチの平たい鉄板がそれ。

弥生時代の日本の遺跡でどこにも出ていなかった遺物。製品に加工する

るための原材料鉄錠（てつてい）です。

中国ではお金としても通用。この鉄錠、日本では後の古墳時代にたくさん出土しますが、弥生時代では久米池南の例だけ。

さらに石の斧に代る鋭い鉄斧（てつぷ）もみられ、柄に着ける所の両端を曲げて差し込む構造。当時、他の遺跡の鉄斧は一枚板の鉄を木の柄に縛りつけただけ。

久米池南のように改良した斧を使うのはもっと後のこと。久米池南遺跡は大陸文化の窓口でもありました。

あとしばらくで、邪馬台国が力を蓄え、中国大陸にまで名が聞えるクニに成長するという頃、山上でいち早く取り入れたハイテク武器の鉄の剣のキラムキで戦いに備えた、高地性集落という久米池南遺跡ムラの役割は、まもなく終りを迎えることになりました。



民主香川

定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

物価高騰対策を申し入れ

《党と県議団》



日本共産党香川県委員会と県議団は14日、「県民の命と暮らしを守るための物価高騰対策等への緊急申し入れ」を浜田恵造知事に申し入れました。

榎昭二、秋山時貞県議と石田まゆ参院選挙区候補、白川よう子四国ブロック国政対策委員長が出向き、知事が対応しました。

要望は、▽消費税5パーセントへの減税、インボイス制度の中止▽各種福祉施設、事業所、医療機関への財政支援▽県立学校と市町立小中学校への給食の食料費支援▽米価と麦の価格補助ーなど16項目です。

青年後援会が集い

香川県の日本共産党青年後援会は12日、「石田まゆとくつろぎ対話」と題して集いを高松市で開催しました。

日本共産党の石田まゆ参院選挙区候補が参加し、「私は父が家庭で育ち、金銭的な理由で進学をあきらめた。私のような人を増やしたくない」と学費半額化の政策を紹介し、「使いすて労働も許せない。安心して将来設計できる社会に変えたい」と賃上げなどの政



参加した保育士は、自民党の軍事費増額の公約を批判し、「もし軍事費増額分を保育に回せば、低すぎる賃金や待機児童の問題も解決するはず。石田さん【2面につづく】

トがなくなっている。給食も教育だ。県独自の店舗対策が必要」と迫りました。

知事は、「県民への対策に、商品券なども考えたが事務費用も多くなる。マイナンバー支援はコストもかからず支援できる」「円安の恩恵を受けている企業は賃上げをして社会に貢献するべきだ」と述べ、「必要な対策は国に申し入れていく」と答えました。

和 未来は選べる」のバナーが▼「しんぶん赤旗」では、にひそうへい候補の活躍と党への期待を、それぞれの当事者が語る連載がされています。諫早湾千拓事業、西日本豪雨と復興活動、JR（九州）の路線切り捨て問題、マツ父の労働者、派遣者問題・・・どれをとっても切実な問題で、「明日は我が身」です。香川でもハンセン病問題解決に何度も大島青松園に出向き、04年の連続災害では現場から住民や自治体の要求をきき、国に届けてきました▼何としても、にひそうへい、大門みきし、田村智子、いわぶち友、ただけ良介のベストメンバー5人を。そして、原発停止後、毎週金曜日に欠かさず行動し、青年の思いにも親身になって聞いてきた石田まゆさんを国会に▼切実な思いや要求を前進させるかなめになってほしい。国会閉会日のしんぶん赤旗に次の見出しが躍りました。「対決構図鮮明。対話・支持拡大やりきって公示日を！」。

異台教太

さあ参院選。「戦争か平和か」「くらしがかかった」国政選挙。この先3年間は解散がない限り、国政選挙はありません。ゆえに、この先の日本の針路が問われる重大局面を迎える選挙です。比例5人のベストメンバーが訴える背には「自由と平和